

H25年 夏号

ふれあい平塚ホスピタル

回復期リハビリテーション病棟



在宅生活を見据えた病棟生活のお手伝いは、

生活行為支援班 通称：DLIP-T（ドリップチーム）

（Support Team of Dairy Living Performance: DLIP-T） におまかせ下さい！

ふれあい平塚ホスピタル 回復期リハビリテーション病棟では、患者様の入院生活の充実と在宅生活により近い病棟生活を支援をするため、「24時間生活リハビリ」に力を入れています。目覚めから寝るまで、更に眠っていることも全て生活行為ととらえ、患者様個人に合わせて24時間の生活行為をサポートします。

そこで活躍しているのが、

生活行為支援班 DLIP-T（ドリップチーム）

です。チームはOTを中心にPT・Ns・介護職・MSWの構成で、様々な視点から考えた生活支援を行います。具体的な活動は、毎日の小集団活動と曜日毎に映画鑑賞会、カフェ、カラオケ等のプログラムの企画運営です。積極的に離床することでメリハリのある入院生活を送って頂けるよう取り組んでいます。患者様にも活動が定着し「次の映画は何？」とプログラムを楽しみにするお声や、「入院生活の楽しみの1つ」とのお声を頂くようになりました。



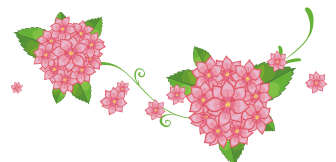
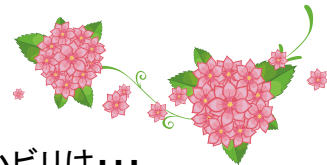
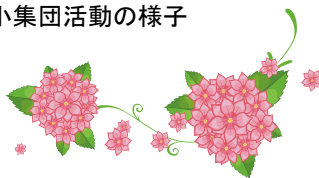
小集団活動の様子

映画鑑賞会の様子



これからもDLIP-Tの活動や回復期リハ病棟での取り組みなどご報告させていただきたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



ふれあい平塚ホスピタルのリハビリは・・・

- ・年末年始休みなく365日です
- ・1日2～3時間のリハビリを行います
- ・リハビリとは別に離床促進プログラムがあります（映画鑑賞、カフェ、カラオケなど。今後も増やしていきます。）